

解熱鎮痛薬 ノノン錠

製品の特徴

ノノン錠は、2種の鎮痛成分に2種の鎮痛補助成分を配合した、非ピリン系の解熱鎮痛薬です。頭痛、歯痛、生理痛などの痛みにすぐれた鎮痛効果を発揮します。



使用上の注意



してはいけないこと

(守らないと現在の症状が悪化したり、副作用・事故が起こりやすくなります。)

- 次の人は服用しないで下さい。
 - 本剤によるアレルギー症状を起こしたことがある人
 - 本剤又は他の解熱鎮痛薬、かぜ薬を服用してぜんそくを起こしたことがある人
- 本剤を服用している間は、次のいずれの医薬品も服用しないで下さい。

他の解熱鎮痛薬、かぜ薬、鎮静薬、乗物酔い薬
- 服用後、乗物又は機械類の運転操作をしないで下さい。(眠気があらわれることがあります。)
- 服用時は飲酒しないで下さい。
- 長期連用しないで下さい。



相談すること

- 次の人は服用前に医師、歯科医師又は薬剤師に相談して下さい。
 - 医師又は歯科医師の治療を受けている人
 - 妊婦又は妊娠していると思われる人
 - 水痘(水ぼうそう)若しくはインフルエンザにかかっている又はその疑いのある乳・幼・小児(15才未満)
 - 高齢者
 - 本人又は家族がアレルギー体質の人
 - 薬によりアレルギー症状を起こしたことがある人
 - 次の診断を受けた人

心臓病、腎臓病、肝臓病、腎・十二指腸潰瘍
- 次の場合は、直ちに服用を中止し、この説明文書を持って医師、歯科医師又は薬剤師に相談して下さい。
 - 服用後、次の症状があらわれた場合

関係部位	症 状
皮 膚	発疹・発赤、かゆみ
消化器	悪心・嘔吐、食欲不振
精神神経系	めまい

まれに下記の重篤な症状が起こることがあります。その場合は直ちに医師の診察を受けて下さい。

症状の名称	症 状
ショック (アナフィラキシー)	服用後すぐにじんましん、浮腫、胸苦しさ等とともに、顔色が青白くなり、手足が冷たくなり、冷や汗、息苦しさ等があらわれる。
皮膚粘膜眼症候群 (スティーブス・ジョンソン症候群) 中毒性表皮壊死症 (ライエル症候群)	高熱を伴って、発疹・発赤、火傷様の水ぶくれ等の激しい症状が、全身の皮膚、口や目の粘膜にあらわれる。
肝機能障害 ぜんそく	全身のだるさ、黄疸(皮膚や白目が黄色くなる)等があらわれる。

- 5～6回服用しても症状がよくなる場合

効能・効果

●頭痛・歯痛・月経痛(生理痛)・腰痛・関節痛・抜歯後の疼痛・筋肉痛・肩こり痛・神経痛・打撲痛・ねんざ痛・咽喉痛・耳痛・骨折痛・外傷痛の鎮痛 ●悪寒・発熱時の解熱

用法・用量

1回下量を1日3回を限度とし、なるべく空腹時をさけて水又はお湯と一緒に服用して下さい。服用間隔は4時間以上おいて下さい。

年 齢	1回量	1日服用回数
大人（15才以上）	2錠	3回
7才以上15才未満	1錠	
7才未満	服用させないで下さい	

<用法・用量に関する注意>

- (1) 小児に服用させる場合には、保護者の指導監督のもとに服用させて下さい。
- (2) 錠剤の取り出し方

右図のように錠剤の入っているPTPシートの凸部を指先で強く押して裏面のアルミ箔を破り、取り出して服用して下さい。

（誤ってそのまま飲み込んだりすると食道粘膜に突き刺さる等思わぬ事故につながります。）



成分とはたらき

成 分	分量 (6錠中)	は た ら き
アセトアミノフェン	900mg	痛みの感覚をおさえます。また、熱を下げるはたらきもあります。
エテンザミド	800mg	
アリルイソプロピルアセチル尿素	180mg	痛みをおさえるはたらきを助けます。
無水カフェイン	180mg	痛みをおさえるはたらきを助けます。また、頭痛をやわらげます。

添加物として、ヒドロキシプロピルセルロース、メタケイ酸アルミン酸Mg、CMC-Ca、ステアリン酸Mgを含有します。

保管及び取扱い上の注意

- (1) 直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に保管して下さい。
- (2) 小児の手の届かない所に保管して下さい。
- (3) 他の容器に入れ替えないで下さい。（誤用の原因になったり品質が変わります。）
- (4) 使用期限を過ぎた製品は服用しないで下さい。

ワンポイント情報

痛みは様々な刺激で起こり、2段階の痛みに分かれます。第1段階（第一相）の痛みは5～10分で終わり、10～15分後に始まる第2段階（第二相）の痛みが持続する痛みとなります。

持続する痛みは、体内で痛みを引き起こす物質（ブラジキニンなど）や、痛みをより感じ易くする物質（プロスタグランジン）が作られるために起こります。

多くの解熱鎮痛薬は、このプロスタグランジンが作られるのをおさえることにより、持続する痛みに効果を発揮します。

痛みには体の異変を知らせる重要な働きがありますが、過度な痛みは辛いものです。あまり我慢しないで、鎮痛薬をうまく利用しましょう。



お問い合わせ先

本剤についてのお問い合わせは、お買い求めの販売店又は下記までご連絡をいただきますようお願い申し上げます。

湧永製薬株式会社 東京支社 お客様相談室

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台2丁目5-1

(03) 3293-3363 (ダイヤルイン)

(月～金曜日 9:00～12:00、13:00～17:00 但し祝日を除く)



製造販売元

湧永製薬株式会社

広島県安芸高田市甲田町下甲立1624

本社：大阪市淀川区宮原4丁目5-36

http://www.wakunaga.co.jp/